

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2021年3月期 通期決算

2021年5月11日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

【決算短信「当期の経営成績の概況」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 連結貸借対照表の推移	P 4
III. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移	P 6
IV. 配当の推移	P 7
V. 主な医薬品の売上推移	P 8
VI. 新薬開発状況（自社）	P 9
VII. 新薬開発状況（導出）	P 9

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による 2021 年 5 月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【決算短信「当期の経営成績の概況」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、56,407百万円（前連結会計年度比9.9%増）となりました。新型コロナウイルス感染症の長期化により、従来の医薬情報活動が制限される中ではありましたが、過活動膀胱治療薬「ペオーバ錠」、腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」などの売上が増加いたしましたことに加え、昨年4月に販売移管が行われました男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25µg/50µg」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60µg/120µg/240µg」及び「デスマプレシン製剤」、糖尿病治療薬「マリゼブ錠」の寄与などにより増収となりました。

情報サービス事業の売上高は8,489百万円（前連結会計年度比28.0%増）、建設請負事業の売上高は3,538百万円（前連結会計年度比2.0%減）、物品販売事業の売上高は609百万円（前連結会計年度比63.8%減）となりました。

・利益の状況

増収に加え販売費及び一般管理費が減少いたしましたものの、売上原価率の上昇により、営業利益は減益となりました。一方、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。なお、営業外収益として有価証券評価益を、特別利益として投資有価証券売却益をそれぞれ計上しております。

・研究開発の状況

丸石製薬株式会社と共同開発を行っております透析患者におけるそう痒症治療薬ジフェリケファリン（一般名、開発番号：MR13A9）につきまして、昨年、第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。また、EAファーマ株式会社と共同開発を行っております潰瘍性大腸炎治療薬カロテグラストメチル（一般名、開発番号：AJM300）及び塩野義製薬株式会社より技術導入いたしました脊髄小脳変性症治療薬ロバチレリン（一般名、開発番号：KPS-0373）につきましては、承認申請に向けた準備を開始いたしました。なお、本年3月には、ビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社（スイス）より技術導入いたしました顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬アバコパン（一般名、開発番号：CCX168）の承認申請を行うとともに、CGオンコロジー社（アメリカ）より技術導入いたしました腫瘍溶解性ウイルス療法CG0070（開発番号）につきまして、同社が実施しております国際共同第Ⅲ相臨床試験に参画し、日本国内における臨床試験を開始いたしました。あわせて、当社が創製いたしました炎症性腸疾患治療薬KSP-0243（開発番号）につきまして、第Ⅰ相臨床試験を開始いたしました。

このほか、当社の創製品では、昨年10月、パーキンソン病治療薬KDT-3594（開発番号）につきまして、中国、台湾、香港、マカオ及び東南アジア6カ国（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン）における独占的な開発権及び販売権等をアフアメドセラピューティクス社（中国）に許諾する契約を締結いたしました。また、オブシーバ社（スイス）に技術導出しております子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、国内開発番号：KLH-2109、海外開発番号：OBE2109）につきましては、昨年11月に同社より、子宮筋腫を適応症として欧州医薬品庁（EMA）に承認申請が行われました。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	決算期 2020年 3月期	2021年3月期			2022年3月期予想		
		予想*1	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
売上高	63,234	68,000	69,044	9.2%	63,500	△8.0%	31,500
医薬品事業	51,308	56,700	56,407	9.9%	53,000	△6.0%	26,200
医薬品	41,397	48,500	48,140	16.3%	45,500	△5.5%	22,400
ヘルスケア食品	3,840	3,700	3,726	△3.0%	3,600	△3.4%	1,800
その他*2	6,070	4,500	4,541	△25.2%	3,900	△14.1%	2,000
情報サービス事業	6,631	7,000	8,489	28.0%	6,300	△25.8%	3,000
建設請負事業	3,610	3,700	3,538	△2.0%	3,700	4.6%	2,000
物品販売事業	1,684	600	609	△63.8%	500	△18.0%	300
(売上高のうち輸出)	(5,731)	(4,500)	(4,600)	(△19.7%)	(3,900)	(△15.2%)	(2,000)
売上原価	28,328	36,200	36,322	28.2%	34,200	△5.8%	17,000
(原価率%)	(44.8)	(53.2)	(52.6)		(53.9)		(54.0)
売上総利益	34,905	31,800	32,722	△6.3%	29,300	△10.5%	14,500
販売費及び一般管理費	33,048	31,000	31,217	△5.5%	31,900	2.2%	16,300
研究開発費	10,767	10,000	9,626	△10.6%	9,500	△1.3%	5,200
(売上高比%)	(17.0)	(14.7)	(13.9)		(15.0)		(16.5)
営業利益	1,857	800	1,505	△19.0%	△2,600	-	△1,800
営業外収益	1,430	1,400	2,154	50.6%	1,400	△35.0%	750
受取利息及び配当金	1,227		1,273	3.8%			
その他の収益	203		881	332.6%			
営業外費用	859	100	183	△78.6%	100	△45.4%	50
支払利息	23		23	△0.6%			
その他の費用	835		160	△80.8%			
経常利益	2,429	2,100	3,476	43.1%	△1,300	-	△1,100
特別利益	2,264	4,050	4,087	80.5%	6,000	46.8%	6,000
特別損失	62	50	87	39.2%	-	-	-
税金等調整前当期純利益	4,630	6,100	7,476	61.5%	4,700	△37.1%	4,900
法人税、住民税及び事業税	390	1,500	1,510	286.7%	1,200	△20.5%	1,300
法人税等調整額	1,351	△20	587	△56.5%	160	△72.7%	△220
非支配株主に帰属する 当期純利益	71	20	93	30.4%	40	△57.0%	20
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,817	4,600	5,285	87.6%	3,300	△37.6%	3,800

(包括利益)

(12,646)

(30,762) (143.3%)

*1：2021年3月期第2四半期決算発表時に公表した予想数値

*2：国内販売提携先供給額、技術料売上（導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ）の合計額

売上高	<p>実績： 医薬品事業：9.9%増収 医薬品が増加。医薬品ではベオーバ、ダルベオエチン アルファBS注、ピートルなどの増加に加え、昨年4月に販売移管が行われたマリゼブ、ミニリンメルトの寄与などにより全体で増収。一方、ヘルスケア食品、その他の売上はともに減少。 その他の事業：6.0%増収 情報サービス事業が28.0%増収、建設請負事業が2.0%減収、物品販売事業が63.8%減収。</p> <p>予想： 医薬品事業：6.0%減収 医薬品では、引き続きベオーバ、ピートル、ミニリンメルトなどの育成を図るものの、本年4月に実施された薬価改定の影響などにより減収の見込み。 ヘルスケア食品は減少、その他の売上は国内販売提携先供給額、技術料売上ともに減少の見込み。 その他の事業：16.9%減収 建設請負事業にて増収の見込み。情報サービス事業、物品販売事業にて減収の見込み。</p>
売上原価	<p>実績：売上原価率は7.8ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は製品構成の変化などにより上昇。一方、その他の事業は事業構成の変化などにより低下。</p> <p>予想：売上原価率は1.3ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は薬価改定の影響、製品構成の変化などにより上昇を見込む。一方、その他の事業は事業構成の変化などにより低下を見込む。</p>
販売費及び一般管理費	<p>実績：前期比5.5%減少 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、販売費、一般管理費、研究開発費の全てにおいて減少。研究開発費の減少は、既存導入テーマのマイルストーン支払いが増加した一方、主として臨床試験費用が減少したことによる。</p> <p>予想：前期比2.2%増加 販売費が増加の一方、研究開発費、一般管理費は微減の見通し。販売費の増加は、営業活動経費、減価償却費の増加などによる。</p>
営業外損益	<p>実績：その他の収益に有価証券評価益などを計上。</p> <p>予想：特別なものは見込んでいない。</p>
特別損益	<p>実績：投資有価証券売却益、投資有価証券評価損などを計上。</p> <p>予想：特別利益として投資有価証券売却益の計上を見込む。</p>

【その他項目（連結）】

(百万円)

項目	決算期 2020年 3月期	2021年3月期			2022年3月期予想		
		予想*	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
減価償却費	2,562	3,200	3,148	22.8%	3,800	20.7%	1,800
設備投資額	970	1,000	1,180	21.6%	1,450	22.9%	820
主要内容	生産設備等 232 その他 737	生産設備等 600 その他 400	生産設備等 615 その他 564		生産設備等 750 その他 700		生産設備等 450 その他 370
期末従業員数(人)	1,892	-	1,863	△29	-	-	-

*：2021年3月期第2四半期決算発表時に公表した予想数値

Ⅱ. 連結貸借対照表の推移

(百万円)

項目		決算期	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
資 産	流動資産		96,677	92,965	△3,711
	現金及び預金		36,329	20,456	△15,872
	受取手形及び売掛金		19,462	23,058	3,595
	特定金銭信託及び有価証券		26,152	27,530	1,378
	たな卸資産		13,439	20,119	6,679
	その他の流動資産		1,293	1,800	507
	固定資産		135,117	175,895	40,778
	有形固定資産		24,605	24,290	△315
	無形固定資産		1,511	1,640	129
	投資その他の資産		108,999	149,964	40,964
	投資有価証券		105,158	138,133	32,974
	長期前払費用		2,103	10,262	8,159
	繰延税金資産		677	585	△91
	その他の投資等		1,097	1,017	△80
	貸倒引当金		△36	△34	2
資産合計			231,794	268,861	37,066

現金及び預金	・利益による増加があった一方、医薬品事業における株式取得、販売権取得などの資金需要による減少
受取手形及び売掛金	・医薬品事業における売上高の増加に伴う増加
特定金銭信託及び有価証券	・時価評価による評価益の計上による増加
たな卸資産	・医薬品事業における商品及び製品の増加、情報サービス事業における仕掛品の増加
その他流動資産	・医薬品事業における未収入金の増加
無形固定資産	・減価償却による減少の一方で、新規システム投資による増加
投資有価証券	・時価評価による含み益の増加
長期前払費用	・減価償却による減少の一方で、新規取得資産の計上による増加

(百万円)

項目		決算期	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
負 債	負債合計		38,824	48,907	10,083
	流動負債		17,024	18,245	1,221
	支払手形及び買掛金		5,237	7,909	2,671
	短期借入金		1,746	1,743	△2
	未払法人税等		196	1,487	1,291
	その他の流動負債		9,843	7,104	△2,738
	固定負債		21,800	30,662	8,861
	長期借入金		13	-	△13
	繰延税金負債		17,191	28,480	11,288
	退職給付に係る負債		3,572	1,234	△2,337
その他の固定負債		1,022	946	△75	
純 資 産	純資産合計		192,970	219,953	26,983
	株主資本		143,435	144,941	1,505
	資本金		24,356	24,356	-
	資本剰余金		24,226	24,226	△0
	利益剰余金		106,461	109,270	2,809
	自己株式		△11,608	△12,911	△1,303
	その他の包括利益累計額		49,029	74,373	25,344
	非支配株主持分		504	638	133
負債及び純資産合計			231,794	268,861	37,066

支払手形及び買掛金	・医薬品事業における買掛金（商品・原材料仕入）の増加、情報サービス事業における仕入債務の増加
未払法人税等	・医薬品事業における所得増に伴う増加
その他の流動負債	・医薬品事業における未払金の減少、建設請負事業における未成工事受入金の減少
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益増加に伴う増加
退職給付に係る債務	・年金資産の増加による減少
利益剰余金	・期中配当金支払い△2,475、親会社株主に帰属する当期純利益+5,285
自己株式	・自己株式の取得△1,303
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の含み益増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加、退職給付に係る調整累計額の増加

Ⅲ. 連結キャッシュ・フロー計算書の推移

(百万円)

項目	決算期 2020年 3月期	2021年 3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,934	△2,542	△16,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	490	△9,329	△9,819
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,419	△4,000	418
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0	1
現金及び現金同等物の増減額	10,004	△15,872	△25,877
現金及び現金同等物の期首残高	49,315	59,319	10,004
現金及び現金同等物の期末残高	59,319	43,447	△15,872

主な増減要因（前期比）

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー：減少

営業活動の結果、当連結会計年度において2,542百万円の支出となりました。仕入債務の増加などの資金増加要因がありました一方で、売上債権の増加、たな卸資産の増加などが資金減少要因となりました。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー：減少

投資活動の結果、当連結会計年度において9,329百万円の支出となりました。投資有価証券の売却による収入の増加などの一方で、投資有価証券の取得、販売権の取得による長期前払費用の計上などがありました。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー：増加（支出減）

財務活動の結果、当連結会計年度において4,000百万円の支出となりました。主な要因は、自己株式の取得、配当金の支払いです。

IV. 配当の推移

(円)

項目	決算期 2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期予想
中間配当	25	26	27	28
年間配当	50	52	54	56

(参考)

(百万円)

自己株式の取得	-	-	1,303	-
(取得株式数)	-	-	(600千株)	-
自己株式の消却	-	-	-	-
(消却株式数)	-	-	-	-

V. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 2020年 3月期実績	2021年3月期			2022年3月期予想		
		予想*1	実績	前期比	通期	前期比	うち上期
過活動膀胱治療薬 ハオーバ	3,185	7,000	7,024	120.5%	8,300	18.2%	4,000
デスマプレシン製剤 ミニリンメルト、他*2	-	3,900	3,464	-	4,000	15.5%	1,900
排尿障害改善薬 ユリーフ	5,857	3,700	3,671	△37.3%	2,900	△21.0%	1,500
高リン血症治療薬 ピートル	5,752	6,400	5,885	2.3%	6,600	12.1%	3,200
腎性貧血治療薬 ダルヘボエチン アルファBS注JCR	812	4,700	4,883	501.0%	3,500	△28.3%	1,500
腎性貧血治療薬 エボエチンアルファBS注JCR	5,520	4,000	4,416	△20.0%	2,900	△34.3%	1,500
糖尿病治療薬 グルベス	4,501	4,400	4,308	△4.3%	4,000	△7.1%	2,000
糖尿病治療薬 グルファスト	1,406	1,100	1,161	△17.4%	1,000	△13.9%	500
糖尿病治療薬 マリゼブ	-	1,800	1,547	-	1,700	9.9%	800
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,604	1,570	1,526	△4.9%	1,400	△8.3%	700
潰瘍性大腸炎治療薬 レクタブル	756	820	791	4.6%	800	1.1%	400

*1：2021年3月期第2四半期決算発表時に公表した予想数値

*2：ミニリンメルトOD錠25μg/50μg/60μg/120μg/240μg、デスマプレシン点鼻液0.01%協和、デスマプレシン・スプレー2.5協和/10協和、デスマプレシン注4協和

VI. 新薬開発状況（自社）

(2021年5月現在)

開発段階	一般名 ／開発番号	開発区分	予定適応症	主な作用等
承認申請中	アバコパン ／CCX168	導入品／ピフォー・フレゼニウス・ メディカル・ケア・リーナル・ファーマ (スイス)	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	補体C5a受容体阻害作用
申請準備中	カロテグラストメチル ／AJM300	導入品／EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用
	ロバチレリン ／KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用
第Ⅲ相	ホスタマチニブ ／R788	導入品／ライジェルファーマシュー ティカルズ(アメリカ)	慢性特発性血小板減少性紫斑病	チロシキナーゼ阻害作用
	ジフェリクファリン ／MR13A9	導入品／丸石製薬 共同開発	透析患者におけるそう痒症	κオピオイド受容体刺激作用
	CG0070	導入品／CGオンコロジー (アメリカ)	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法
第Ⅱ相	リンザゴリクス ／KLH-2109	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	Dパミン受容体刺激作用
第Ⅰ相	KSP-0243	創製品	炎症性腸疾患	

※ 前回公表時（2021年2月）からの変更点： アバコパン… 申請準備中 → 承認申請中
 カロテグラストメチル… 第Ⅲ相 → 申請準備中
 ロバチレリン… 第Ⅲ相 → 申請準備中
 CG0070 … 第Ⅲ相（新規掲載）
 KSP-0243 … 第Ⅰ相（新規掲載）

VII. 新薬開発状況（導出）

(2021年5月現在)

開発段階	一般名／開発番号	提携企業	実施国・地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	イーザイ(日本)	ベトナム	2型糖尿病	速効・短時間型 インスリン分泌促進作用
	シロドシン (sildenafil)	イーザイ(日本)	ベトナム、他	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用
	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	欧州	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
第Ⅲ相	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	米国	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
	リンザゴリクス (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	欧州、米国	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedradrine)	メディシバ(アメリカ)	米国	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体 刺激作用
	KDT-3594	アフアムド(中国)	中国、他	パーキンソン病	Dパミン受容体刺激作用

※ 前回公表時（2021年2月）からの変更点： KDT-3594 … 第Ⅱ相（新規掲載）